一般　教員不足及びその対策について

東　和子（みどり21）

市政方針において以下の点が示された。

『学校教育ではＩＣＴ機器を効果的に活用した「きくがわ21世紀型授業」をさらに進め、「令和の日本型学校教育」の構築に向け、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の現実を目指すこと』

『全ての子どもの可能性を引き出して行けるよう特別支援教育の充実を図り、小中一貫教育「学びの庭」構想として、小学校同士や小中学校合同での行事や地域と企業さらに地元高校との連携した教育活動を進める等、多くの事業の実施を図ること』

Q　本市において、年度初めや病気等で休職に入ることで教員不足になった場合の教員の募集方法は。

A　全ての教員の任用は静岡県が実施しているが代替教員や不足する教員は教育委員会や学校長が探す。

Q　令和５年度　教育文化部運営方針で触れられた部活動の地域移行と教員の働き方改革への見解は。

A　部活の地域移行についてまず、休日への移行を検討している。今年度は準備期間。来年度にあり方検討会を実施しどの部活が移行できるかまた指導者や場所等を検討し事業を進めたい。教員の働き方改革は、生徒の多様化や減少により特に団体部活動が成り立たなくなっている現状があるので、まずは、それらを踏まえ部活動の地域移行を来年度は、運動部から考え本格的な検討を始め、文化部についても今後地域移行を検討していく。

六郷小学校

一般　特定健康診査の受診率向上の取組

赤堀　博（みどり21）

令和３年度の菊川市の国保加入者の特定健康診査受診率は44・４％であった。市民の健康意識を高める意味で、また生活習慣の見直しを図る良い機会と考え質問した。

Q　未受診者に勧奨通知を出した結果は。

A　10月下旬に４５６７人に、１月中旬に３９６５人に発送し、令和２年度の同時期と比較して、10月下旬の発送後は1.5倍、１月中旬の発送後は7.1倍に増加し、受診勧奨通知の効果はあった。未受診の理由として、土日、夜間に受診できる医療機関があれば受診するという意見があったので令和４年度の特定健診の受診案内に土日夜間に受診できる医療機関を表示した。

Q　受診結果提出者を対象とした商品券の抽選について

A　自身の健康づくりの実践につなげていくことを目的として、健康マイレージ事業を実施している。

Q　国保人間ドックの補助額の引き上げは。

A　今のところ、引き上げの予定はない。国保加入者が人間ドックを受診した場合、負担した費用の３分の２の額と２万円とを比較して、いずれか低いほうの額を助成。受診しやすい環境づくりも進めており、令和４年度から受診後の交付申請のみの来庁で済むよう助成手続きを見直した。